

新潟教育研究所

令和4年6月9日発行 第50号

公益財団法人 新潟教育会
新潟教育研究所

T951-8104

新潟市中央区西大畑町590-3 新潟教育会館
URL <http://kyouikukai.jp>

TEL・FAX 025-222-2971
E-mail kenkyujo@kyouikukai.jp

「研究・探求」の楽しさは 人生の楽しさ

新潟市こども創造センター長

浅井 俊一



こども創造センター1Fものづくりひろばで、小学低学年の女の子とお母さんが並んで造形活動をしていました。女の子は色鉛筆を持っはいるものの手は止まったままです。私が「かきたいものが決まっていないの?」と問うと、お母さんが「何か良いものはありませんか?」とささやきました。「それじゃ“あなたの春”を描いてみよう!」。もうすぐ2年生になる女の子はしばらく考えて「春って入学式かな?」とつぶやき、「じゃ～あなたの入学式を描いてみよう。どんなものを描いてもいいけど、春らしい工夫をするといいよ!」

(具体的なモチーフや色使いを言わずに)…女の子はお母さんと話しながら30分くらいで楽しそうに“私の春の絵”を完成して帰りました。このアプローチは、偶然に行ったものではありません。遊びや造形の中に「発見」「表現」「交流」を保障しようという創造センターのコンセプトを踏まえて行ったものです。

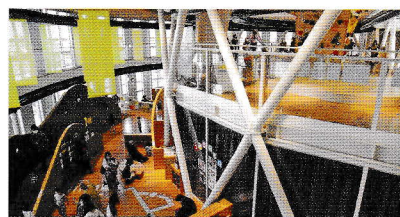
こうしたアプローチについて、近年保育士資格を取得したフロアリーダーから、「生きる力や共に生きる力を育むことを目的にすることも創造センターの取組は、世界で注目されているレジャ・エミリア・アプローチ(以下RE)に似ていますね。」との話があった。

REとは、1945年芸術の国イタリアで始まった「0～5歳の幼児であっても‘100の言葉’での自己表現があり、それを観察・記録し、グループワークに誘うことで、大人になっても重要な批判

的思考力や創造力・柔軟性のある認識力、社会的能力、情緒的な認識力を育むことができる。」という幼児教育です。教師は子どもたちの言動を注意深く観察し、グループワークに誘うプロヴォケーション(挑発)という役割を果たします。

今春施行の高等学校指導要領でも探求学習がメインになり、一層「生きる力の育成」や「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められています。幼児教育の研究は、伝統的な教育との狭間で苦勞しているみなさんの教育課題解決や幼小中高一貫教育の糸口になるのではないのでしょうか?

RE教育の
双壁である
「学校環境」
は、人が集う
広場や‘美し



さ’を感得できるアトリエやギャラリーで構成され、時として保護者も参画するラボ(研究所)になります。その要件を充たした創造センターは、教育施設設計の第一人者である環境デザイン研究所(創設者:仙田満氏)によるもので、キッズデザイン賞受賞施設であり、年間20万人以上の親子さんや多くの団体に利用されています。

私は20代後半から美術教育の研究を始めました。その後美術館や水と土の芸術祭・大学と深くかわることができ、退職10年目の今も創造センターに勤め、文化創造都市新潟の街づくりに参画しています。まさに“研究は身を助ける”です。

県指定自動車教習所協会の法定講習から

新潟教育研究所 教育アドバイザー

濱 中 力 也



はじめに

新潟県指定自動車教習所協会では、各教習所の技能検定員・教習指導員のレベルアップを図るため、年1回の法定講習を実施しています。講習の内容は、県公安委員会の指導助言を参考にしています。これまで本講習の講師であった方が辞任することになり、新潟教育会に依頼が届きました。対象は、係長、課長、副校長等の管理職で、1班70人程度で3班からなり、会場は聖籠町の免許センターです。教習所副管理職という異業種を対象に90分の講習を行うことに不安を感じつつも、新潟教育会の公益性を高める好機として、前向きに引き受けることにしました。

納得と共感をベースにして

参加する教習所のホームページを見て現状をリサーチし、納得や共感を得られ、受講者が少しでも前向きになれるように1枚1枚のプレゼンシートを作成しました。講義題は「学校教育の現状と課題」として、次の4つから内容を構成しました。

- ①現在の小・中・高校生が受けている授業の特徴
- ②教師が授業で大切にしていること
- ③学校の組織力を高める取組
- ④人材をどのように育成するか

法定講習の実際

当日の会場には、県下36の教習所から、50代を中心に副管理職が集まり、95%が男性です。最初はやや硬い雰囲気でしたが、徐々にその硬さも以下のようにほぐれていきました。

最初の提示シートは、中・高校生の理想の教師像ベスト5を示し、第1位を空欄としました。考えてもらう時間です。そして第1位「分かりやすい授業」を示すと意外な表情が見て取れました。そこから、知識注入型の授業から問題解決型の授業が多くなってきている実態とその理由を小学校4年生の算数、複合図形の面積の求め方の板書例

で説明し、授業のねらいが「答え」ではなく、見方・考え方や知識のポイントを話し合うことを伝えました。こうしたアウトプットとラーニングピラミッドについて解説して理解を深めました。

次は、授業力の高い教師が実践していることを具体的に紹介しました。教習所の講習と重なる部分も意識して、学習意欲のない子どもには、危機感や価値観で迫るよりも、好奇心や楽しさのある中身、教習所であれば「信号機の赤はどっち？」のように少し考えさせて、赤の視認性を高めるための位置となっているなどすると食いつくと伝えました。また、授業力を高める公開授業の重要性も伝えました。頷く人が少し増えてきました。学校の組織力を高める取組として、風通しのよい集団にするには、ワイワイガヤガヤと個々の考えを出し合える場面づくりが大切なこと。そして、リスク管理も含め情報が集まる管理職になるための留意点を考えてもらいました。

最後は、人材育成について、教育ビジョンの作成やマネジメントサイクル、組織の中心にミドルリーダーがいること。ミドルリーダーを育てるにはコーチングの考え方も有効であることなど具体例を挙げて説明しました。「人は見た目が9割」という本から、非言語コミュニケーションの重要性も伝えました。靴をきれいにとも。

終わりに

後日、受講者のアンケートが届きました。「これまでの法定講習の中で一番短く感じた。」という評価、納得や共感した部分が受講者にとって少しずつ違うなど、何かの刺激になったようで、安堵しました。また、次は後半の部分を詳しく聞きたいとのリクエストが多数あり、現在第2弾を行っている最中です。準備するのに時間はかかりますが、私自身も、教育アドバイザーとして学んだり、伝えたりすることができて幸せを感じています。

宮川由美子

新潟教育会で3年間会計を担当した。ある時ある方へ、謝金を振り込もうとして途方に暮れた。振込先が、ある金融機関の「ネットバンク」に指定されていたのである。見たことも聞いたこともなく、恐る恐るご本人にお聞きした。電話の向こうで、きっと、もの知らずをあきれておられただろう。でも、私の中では想定外なのであった。

ある商店の入り口の前で、子どもがつっ立っていた。見るともなしに見ていたら、店の人と何かやりとりしているのが聞こえてきた。「自動ドアじゃないの?」「・・・。」

姪と甥がまだ小さい頃、祖父母の家では開けた戸やドアを閉めるということができなかった。自分たちの家が、台所も居間も全てつながっていて、その必要が皆無だったのだ。

こんな記憶もよみがえってきた。「調理実習で米をとがせたら、洗剤を入れて泡だらけにしていた。」テレビから流れてきた話である。

三つとも笑えるようで笑えない。自動、オープンスペース、清潔という環境で育ってきた子どもたち。人は便利さを一つ手にすると、自らの能力を一つ失うという話を聞いたことがある。

子どもたちを取り巻く大人たちは、「変化の激しいこれからの時代を逞しく生き抜く力」を付けたいと願っている。だとしたら、もう少し不便な環境も子どもたちに必要かもしれない。

消せるボールペンが登場した。「書く」ことは、
ついこの間まで墨をすって筆で書くことだった。
飛鳥・奈良時代の仏典を写すことから始まり、江
戸時代あたりに漸く庶民の暮らしにも「書く」こ
とが入ってきた。思えば、学校の沿革誌は筆で書
かれていたのを私は目の当たりにしている。「書
く」こと一つとっても長い間連綿として続いてき
たことが、ワープロ、パソコン、タブレット、
iPadと瞬く間に変化している。戸惑っている先生
はいないのか。

3年前に風呂場をリフォームした。長年の肩凝り解消のために、清水の舞台から飛び降りる気持ちでジェットバスを取り入れた。母にしてみれば贅沢仕様に思うのだろう。彼女の時代の風呂の現実を何回も聞かされた。井戸から水を汲み、五右衛門風呂を満たすために何回往復したことか。焚き付けは杉の葉だった。それが水道になりガスになり、その便利さに母たちは驚いたという。洗濯板を使っていた洗濯が洗濯機に代わり、井戸で冷やしていた西瓜が冷蔵庫で冷やされる時代になり、釜で炊いていたご飯は炊飯器がその役を担った。「家事」と総称されるものが便利になったことは、「共働き」の女性たちのためには素晴らしいことだと思う。井戸水って冬は温かくて、夏は冷たいんだよね。釜で炊いたご飯は一味違うよね。便利を手に入れながら、私たちは勝手なことを言っている。

「書く」ということを考えてみた。子どもは鉛筆を使うものということに疑いを持つことなく育った私。今では考えられないかもしれないが、担任時代「子どもたちがボールペンを使うことを許可するかどうか」が先生方の間で真剣に話し合われた。「間違っても消せないし、○つけ用の赤ならいいかなあ。」そんなことを思っているうちに

ATM操作ができない母に代わって、銀行だの信組だの農協だの、そのたび毎に記帳や引き下ろしなどの操作をする。何回かやり方を教えたが、母は覚えられなかった（覚えようとしなかった）。「簡単なのに！」と、内心想わなくてもいい。が、パソコンやスマホの操作を弟に委ねている私も「もうっ！」と思われているに違いない。

Support, Information & Opinion S. I. O. の充実をめざします

第14回教師力アップ講座

ウィズコロナが続く中ですが、上記の講座は、是非、実施したいと考えています。状況によっては、期日変更も含めて対応して参ります。別紙「教師力アップ講座」の案内状をご覧の上、お申し込みください。なお、HPからも申し込み可能です。

●日時 令和4年7月16日（土）午前9時45分～

●会場 新潟教育会館（新潟市西大畑町590-3）

第1講座

「保護者との良好な関係を築く教師のかかわり方」
～理論と演習を通して～



講師 古田島 真樹 様
長岡市立青葉台小学校長
公認心理師
特別支援教育スーパーバイザー
学校カウンセラー
スーパーバイザー

第2講座



「GIGA時代に求められる
学びとこれから」
講師 高橋 恒彦 様
新潟大学 教職支援センター
特任教授



講師 五十嵐 健太 様
新潟市立上所小学校 教諭
GEG Niigata City
共同リーダー

教育アドバイザー派遣事業の推進

教育アドバイザー

派遣事業は、要請に応じて登録いただいている教育アドバイザーを派遣し、学校



及び先生方を支援する制度です。校内研修はもちろんですが、授業研究会、PTA講演会、研究サークルへの派遣申請が多く見られます。個人研修の要請にも応じますので、ご利用ください。

教育アドバイザーの選定は、「教育アドバイザーリスト」をご覧ください。12月には、令和4年度登録者を加えた「令和4年度版教育アドバイザーリスト」を送付します。

所報「新潟教育研究所」の発行

6月・12月・3月の年3回発行します。

インターネット接続が可能になりました。

会議室・相談室からインターネットに接続可能になりました。講座でのインターネット活用やリモートでの講座や研修も可能です。WiFi 接続に必要なID やパスワードは各会場に明示してあります。

教育アドバイザーの派遣について

要 請 の 仕 方

校内研修で、研究会で、PTA の講演会で、研究サークル等で、「あの先生にアドバイスを受けたい、話をしてもらいたい」と思ったら……

1 まず事務局にお電話をください。

新潟教育会事務局「025-222-2971」へ

招請したい教育アドバイザー、期日、内容、会場、参加人数等をお知らせください。

2 事務局が教育アドバイザーに連絡をとります。

3 依頼者に承諾の結果をお知らせします。

4 応諾であれば、依頼者が教育アドバイザーに詳細を連絡してください。

* 事前に教育アドバイザーと連絡を取り、結果を事務局にお知らせいただく形でも結構です。

派遣経費について

交通費を考慮した謝金は、年度内で連続して同一の教育アドバイザー派遣を要請する場合、初めの1回分だけ当方が負担します。2回目以降は要請者が負担してください。教育委員会からの要請はご相談ください。